

生活科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- 多くの児童が活動を通して、感じたことや考えたことを絵や文章で表現しようとしていた。
- 植物の水やりを欠かさず続け、生長に伴い変化していく様子を楽しみながら、親しみをもって世話をする姿が見られた。
- 多くの児童が約束を守り、他クラスの友達とも仲良く関わろうとしていた。

(2) 課題

- 記録をする際、感じたことや考えたことを具体的に表現したり的確に表現したりすることが難しく、事実の羅列になってしまうこと。
- 自ら考えたり工夫したりして活動することが難しいこと。
- 言葉遣い、学校生活・遊びのルールやマナーを守るなど、生活上必要な習慣を身に付けられてないこと。

2 課題と授業の改善策

		1 年	2 年
課 題	知識・ 技能	・植物や生き物を詳しく観察する力やそれを表現する力を身に付けていくこと。 ・人や社会及び自分自身に関わる学習活動において、生活上必要な習慣や技能を身に付けていくこと。	・植物や生き物の観察や活動について記録をする際に、事実の羅列ではなく、それらに関連付けて表現すること。
	思考・ 判断・ 表現	・自然や人とののかかわりなどに関する活動などで体験したことから、自分自身の生活に役立てるようにすること。	・季節や生き物の様子の変化に気付いたり、自分なりに物事の事象について考えをもったりすること。
	主体的に 学習に取 組む態度	・身近な人々や自然・社会とののかかわりに関心をもたせ、主体的に活動できるようにすること。	・植物の栽培や生き物の飼育等、決められた活動だけでなく、自らすすんで活動を始めた り工夫したりすること。
授 業 の 改 善 策	知識・ 技能	・観察の観点や例を示し、活動の時間を十分確保する。注意深く観察したり考えたり意見を交流したりする場面を設定する。	・観察や体験したことをまとめる際には、観点や要点を明確に提示し、児童が意識をもって考えたり記録したりできるようにする。画像資料の提示や記録カードの比較により、様子の変化についても目を向けさせていく。
	思考・ 判断・ 表現	・気付きや考えを表現させる際、これまでの体験とつなげた表現、感覚を生かせるような働きかけや言葉掛けを工夫する。	・観点やキーワードなどを具体的に示すことで、事象の変化に気付いたり、自分なりの考えをもたせたり、それを表現する方法を身に付けさせたりする。
	主体的に 学習に取 組む態度	・身近な人々とかかわる活動を通して、親しみや好奇心を覚え、驚いたり喜んだりできる活動を取り入れる。	・児童が自ら興味関心をもって学習に取り組めるように、日常的に体験的な活動を意図的に取り入れていく。また、学習の際に具体的な活動の例示をしたり、すすんで取り組めた児童を取り上げることで、意識を高めたり意欲をもたせたりしていく。